



地域貢献の一環として「福岡ソフトバンクホークス」が 福岡県内に及ぼす経済波及効果」の調査を行いました。

FFGビジネスコンサルティングでは、福岡ソフトバンクホークスマーケティング、及び、福岡県との共同研究により、地元球団である福岡ソフトバンクホークス（以下、ホークス）が福岡県内に及ぼす経済波及効果の調査を行いました。

今年度（平成24年度）のレギュラーシーズン中の経済効果は、ホームゲーム（一軍のみ）の開催による観客の消費（交通費、宿泊費、飲食費、買物・土産代、入場料）、及び、メディアの需要（CM広告料、スポーツ紙の売上寄与）により約**495億円**に達すると推計しました。

本調査では、推計の精度を高めるため、7月から8月にかけてヤフードームにおいて、観客の消費動向に関する大規模なアンケートを実施しました。

ふくおかフィナンシャルグループでは、例年「ホークス応援定期預金」を取り扱っているほか、ホークスの公式スポンサーとして、様々なかたちでホークスへの応援を行っています。これからも、地元球団の活躍を応援していきます。

（田中義一）



福岡県内に及ぼすホークスの経済波及効果（生産増加額）

観客の消費による波及効果	メディアの需要による波及効果	計
41,638百万円	7,877百万円	49,515百万円

- ※1 上記の経済波及効果は、「平成17年福岡県経済波及効果分析ツール」を用いて、FFGビジネスコンサルティング（ふくおかフィナンシャルグループ）が推計したものです。
- ※2 今回の推計は、レギュラーシーズン中のゲーム開催に係る観客、メディア等の経済波及効果のみを試算したもので、福岡県が過去公表した日本シリーズ優勝時の経済波及効果試算とは計算対象が異なります。
- ※3 ホームゲーム開催及びメディアの需要による効果以外にも、地域の知名度向上によるシティセールス効果や球団応援セール等による効果も見込まれます。
- ※4 本経済波及効果の推計主体：FFGビジネスコンサルティング
同 協力：福岡ソフトバンクホークスマーケティング、福岡県

平成24年10月福岡銀行小笹支店がオープン

この度、福岡銀行は、新店舗となる小笹支店（福岡市中央区小笹）をオープン致しました。今回は、新店舗の概要についてご紹介致します。

快適で機能的な店舗が誕生

福岡銀行は平成24年10月29日（月）、福岡市中央区小笹に「小笹支店」をオープン致しました。

新店舗は、お客様にとって、快適で機能的、そして親しみやすい空間にするとともに、特に個人のお客様を中心に、投資信託等のご相談をはじめとした質の高いサービスをご提供出来る店舗となっております。銀行としての機能に加え、ロビーの一部を活用して「コミュニティスペース」を設置し、談話スペースやセミナースペースとして、地域の方々との情報交流の場をご提供しております。

今後もお客様との最大の接点である店舗ネットワークの拡充を目指す

福岡銀行の中期経営計画ABCプラン（平成22年度～24年度）では「お客様とのリレーション強化」を掲げております。地域のお客様との最大の接点である店舗の機能やネットワークの拡充を図るため、今回の新店舗は、宇部支店（山口県宇部市）、小倉東支店（北九州市小倉南区）に続く3店舗目の新規出店となります。今後もお客様のお役に立てる様、努力して参ります。行員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

（岡野 美沙子）

オープン当日の様子



小笹支店外観



ご案内



福岡銀行小笹支店

住 所	〒810-0033 福岡市中央区小笹一丁目1番3号
TEL	092-406-2621
自動サービスコーナー	8:00～21:00（平日・土日・祝日）
設 備	全自動貸金庫、多目的トイレ 等



「食の祭典2012 in 福岡」を開催致しました。

ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）は、11月16日（金）、福岡銀行本店にて「食の祭典2012 in 福岡」と題した食品の展示商談会、個別商談会を開催致しました。また、本店広場では、熊本県主催による物産振興イベント「くまもとフェア in 福岡」も同時開催されました。今回は、この2つのイベントの模様をお伝え致します。

九州一円の選りすぐりの食材、福岡に集結

FFGは、九州の食品をテーマとした食品商談会「食の祭典2012 in 福岡」を福岡銀行本店で開催しました。本商談会は「FFG食の商談会」と長崎3市（長崎・佐世保・雲仙）主催の「長崎・佐世保・雲仙 第3回こだわり食材商談会」、そして熊本県物産振興協会主催の「くまもと逸品商談会」を合同で開催したもので、ブース展示や個別商談会等を行いました。

ブース展示には、九州・山口から100社を超える食品関連企業にご出展頂きました。そして、出展企業は、百貨店・スーパー・ホテル・レストラン等の食品購買担当者を中心とした約1,100名の来場者に対して、自社の自慢の商品を紹介される等、展示会場はフリー商談と商品PRの絶好の場となりました。



展示商談会

満足度の高い商談設定により、販路拡大をサポート

当日は、展示商談会場でのフリー商談に加え、百貨店やスーパー等の食品購買担当者（以下、バイヤー）との個別商談も行われました。FFGのネットワークを活用し、九州のみならず大阪や東京、シンガポール、バンコク等、様々な国や地域から39社70名のバイヤーにお越し頂きました。参加企業は自社の商品を積極的にPRし、バイヤーも、新たな商材を前に熱心に説明を聞いていました。個別商談会は、参加企業1社あたり4件程度、全体ではFFG主催の商談会では過去最多となる573件の商談を実施しました。

事務局のFFGビジネスコンサルティングでは、商談が成約につながり易くなるよう、事前に参加企業とバイヤーにきめ細かなヒアリングを実施し、双方の希望に添った商談を設定しました。また参加企業に対して事前説明会を実施し、当日の流れから商談会終了後のバイヤーへのフォ

バイヤーによる
個別商談会



特別セミナー



特産品販売



くまモンによるクリスマスツリー点灯式



ローについてアドバイスをを行ったことも奏功し、6割近くが成約もしくは成約の可能性有りとの結果になりました。商談会開催後に参加企業に対して実施したアンケートによると、回答者の73%が満足以上と回答する等、参加企業からは高い評価を頂いています。また、商談会に参加したバイヤーにも好評で、「目新しい商材が多数あり、良い商談の場となった」等の感想を頂きました。

一方、本店のセミナールームでは、3名の講師をお招きして食に関する特別セミナーを開催しました。セミナーでは「デザインからブランドへ」パッケージによる食の魅せ方、「地域ブランド力を引き出す力」食による地域活性化、「中国における日本食品の現状」今後の販路拡大の行方」をテーマに各講演が行われ、約200名の方が熱心に聴講されていました。

くまもとフェア in 福岡

本店広場では、熊本県の主催により、熊本の特産品をPRするイベント「くまもとフェア in 福岡」も同時開催されました。会場には「いきなり団子」や「天草大王」の手羽先といった、熊本ならではの特産品が並び、約4,000名のお客様にお越し頂きました。また、会場には熊本県のPRキャラクター兼営業部長くまモンも登場し、熊本県の魅力を福岡都心部である天神で、大々的にアピールしました。

FFG設立5周年の節目を迎えて

FFGは地域の皆様に支えられ、今年で設立5周年という節目の年を迎えることが出来ました。今後も九州、山口をはじめとしたお取引先のご要望にお応えすべく、多様な資金調達のメニューに加えて、商談会やビジネスマッチング、セミナー等の充実したサービスの提供に一層努めて参ります。また、九州一円の地域経済の振興に資するイベントも積極的に行い、FFGが掲げているブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の実現に努めて参ります。

(岡野 美沙子)



くまもとフェア in 福岡